

二階堂たけふみ市政報告

発行：二階堂たけふみ後援会 <http://nikaidou.net>
福島市町庭坂字内町51-2 TEL024-591-1138

木幡市長の新年度施政方針を質問

3月定例会議代表質問に初登壇

代表質問のトップを切って、「真結の会」総務会長として登壇。木幡浩市長はじめ担当所管部長に対して新年度予算編成を中心に市政各般にわたり質問しました。

東日本大震災・原発事故から10年を迎えて、本市の復興状況と市長が考える「真の復興」を成し遂げるには、今後どのようなまちづくりが必要と考えているのか。新たにスタートする「新総合計画」の今後5年間のまちづくりにへの決意を質問。さ



第一演壇での代表質問。アクリル板越しなので反射しています

らに、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症の受け止め方など、今後の見通しについて質問しました。

有害鳥獣による農作物被害対策の調査では

「委員長報告」承認後↓市へ政策提言

社会の実現と循環型社会の構築について。市長が進めている「子育てと教育なら福島市」と称されるまちを目指し、具体的な諸施策について。市民生活の面では、「女性が活躍できる地域社会の形成」、安全安心なまちづくり、良質な水道水の安定供給について、「福島らしさ」があふれる観光の振興、「人」と「活力」があふれる農業、商工業の実現、厳しさを増す財政事情の中での活路についてなど、19項目41の質問を1時間に行いました。

7月までの2年間、経済民生常任委員会の委員長を務めて参りました。6月定例会議では、昨年10月からの「有害鳥獣による農作物被害対策に関する調査」の委員長報告を発表して承認を得た後、

木幡浩市長に対して、福島市市議会として有害鳥獣による農作物被害対策に関する「政策提言」を行いました。

本市においては、農家の経営の安定を図るために、有害鳥獣による農作物被害を減少させる対策事業を推進していますが、依然とし



て大きな被害が生じています。

今回、当委員会では特に被害が大きいイノシシとニホンザルによる農作物被害へのさらなる対策が必要であることから、大きく3項目、①有害鳥獣被害対策の体制づくり、②有害鳥獣を農地へと寄せ

つけないための環境整備、③有害鳥獣対策のためのICTの活用を市に提言しました。

特に、体制づくりでは集落環境診断への積極的な取り組み、地域全体で課題や情報を共有し、解決策を見いだす体制づくりの重要性に言及。そのための指導員体制の強化と地域のリーダーを担う人材育成の取り組みを求めました。

今回の木幡浩市長への提言書提出には、正副議長と経済民生常任委員会の正副委員長が出席しました。

地域の安全安心を一步一步進めます

今年3月から6月までに係り合いのあった活動の一部を紹介させていただきます。



●大堀川の浚渫2カ所

令和元年の台風19号では農林業被害などが発生し、その後、多くは復旧しました。しかし、町庭坂の大堀川沿いでは、床上・床下浸水の被害が出たことから、この間、川に堆積している土砂について早急な浚渫を要望してきました。今回、6月末までに荒町北原地区と内町休所地区内の2カ

所の土砂上げが完了しました。

●八反田川の土砂除去



令和元年の台風19号により、大笹生地区の

八反田川の折戸橋周辺の護岸が削られ、電柱倒壊の恐れが出ました。応急処置で大型土嚢を積み市河川課への手配とともに、原因となった河川の堆積土砂の撤去を県北建設事務所に要望。6月には、折戸橋から上流域まで約150メートルの範囲で工事が完了しました。

●雨水側溝で課題解決

今年3月、庭坂霊園の中央を南北に走る市道の4期目の継続事業として、27メートルの



雨水側溝の敷設工事が施工されました。

これに合わせて、庭坂霊園組合では、この雨水側溝への接続工事により、お墓参りが集中する時期の北側洗いの水があふれて通路に流れ出す問題を解決できました。

●4年目の敷設工事



今年3月に、4年目になる地元・横町町内会の20メートルにわたるU字溝敷設工事が完了しました。今回で集

暗渠工事を実施して「現状回復」へ 庭坂小学校のグラウンドの「水はけ問題」解決



3月24日からほぼ1週間、庭坂小学校の暗渠工事が行われて、最終日にはローラーでグラウンドを固めて仕上げていただきました。元に戻ったグラウンドでは、4月3日にはサッカーの試合が行われました。

さかのぼると、1年前の話です。昨年8月の「吾妻地区除染等対策委員会」で、今後の調査と改善が公の場で確認することが出来ました。そして、昨年11月下旬、環境再生推進室担当者から、「この間の調査結果を踏まえ、『現状回復として』今年度中に暗渠工事を実施することにしました」との電話をいただきました。

今回、新学期開始前に現状回復を実現できたことは、学校並びに合同地区民大運動会で盛り上がる地域にとっても何よりでした。



落の中心部まで到達したところ。長年、この地域では、各家庭が敷地内に浸透枳を作って生活排水を処理する大変さがありました。今後は順次、合併浄化槽への切り替えを進めていくこととなります。

●上堰の落石撤去



3月下旬、庭坂水利組合の佐藤進組組長と、2月の福島沖地震で大堀川の上堰に推定約2トンの落石があったという現地を調査。幸い、コンクリート製の水路に損傷はありませんでした。早速、農林整備課と相談して、現地確認の後、撤去に向けて検討。堰の上流部分からバックホーンを入れて、岩を水路から取り除くことができました。